

ドライバー異常時対応システム(EDSS)搭載 新型バス導入について

越後交通株式会社では 2020 年 7 月、路線バスに「ドライバー異常時対応システム(EDSS : Emergency Driving Stop System)」を搭載した新型ノンステップバスを導入しましたのでお知らせいたします。

■ドライバー異常時対応システム(EDSS)とは

走行中にドライバーが急病などで安全に運転できなくなった場合、緊急措置として乗客やドライバー自身が車内にある非常ブレーキスイッチを押すことで、バスを減速・停止させます。スイッチが押されると、車内では音声アナウンスが流れると同時に赤色のフラッシャーランプが点滅し異常であることを乗客に知らせます。さらに、車外へホーンを鳴らしストップランプとハザードランプを点滅させて異常を知らせます。

■導入台数 (2020 年 7 月 28 日現在)	計 12 台
内訳	路線バス 1 台
	高速バス 5 台
	観光バス 6 台

ドライバー異常時対応システム(EDSS)搭載 新型ノンステップバスデビュー♪



■非常ブレーキスイッチ位置 ※メーカーによりボタンの形状や位置が異なります

(路線バス)

(高速バス・観光バス)



お客様操作用
非常ボタン

緊急時以外は
押さないでください

運転士操作用非常ボタン



■その他

EDSS を搭載した路線バス第 1 号車は 2020 年 7 月 29 日 (水) から本社営業所で運行しております。※運行スケジュールに関するお問い合わせはご遠慮ください。

今後も車両更新に合わせて搭載車両を導入していく予定です。

令和 2 年 7 月 28 日